

**平成28年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

平成28年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科の実施となりました。

国語と算数の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	72.9%					○
国語B	57.8%					○
算数A	77.6%					○
算数B	47.2%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	87.5%					○
書くこと	75.0%					○
読むこと	68.8%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.5%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、授業だけでなく、教育活動全般で表現力を高める活動を心がけてきたことが成果となって表れてきています。同時に、話し手の意図を正確にとらえる活動も重視していきます。
- 「書くこと」では、より具体的な事例から取材して文章を書き、より良く書き換えていく活動を今後も丁寧に実施していきます。
- 「読むこと」では、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現を選択する設問の正答率が全国平均を下回っています。説明文や物語文の学習で、根拠となる文をとらえて読みを深め合う活動を重視していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み・書きの設問に正答率が100%のものがありませんでした。漢字コンクールや、日常の反復練習の成果と考えられますので、今後も一層練習に取り組みさせていきます。一方、ローマ字を読む設問の正答率が低かったため、日常生活の中の多様な場でローマ字にふれる機会を設けていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	52.8%					○
書くこと	60.4%					○
読むこと	80.6%					○

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、インタビューに関する設問の正答率が低かったです。社会科の見学学習などの機会に、目的に応じた質問や聞き取りができるよう意図的にインタビューの経験を積み重ねていきます。
- 「書くこと」では、表やグラフなどの目的や意図に応じて自分の考えを書くことができていました。国語科だけでなく、他の教科でも読み取ったことを表現する活動を重視していきます。
- 「読むこと」では、目的に応じて複数の本や文章などを選んで読んだり、比べて読んだりすることができていました。教科書の音読や暗唱、読書活動などに毎日取り組んできた成果であると思われますので、今後も力を入れていきます。

【算数A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	86.7%					○
量と測定	81.3%					○
図形	87.5%					○
数量関係	77.8%					○

【考察】

- 「数と計算」は、全体としてはよくできています。しかし、1より小さい数でわる場合の答えとわられる数の大きさの関係や答えを正しく計算して求める問題を苦手としております。考え方や計算の仕方について日常生活と関連させて理解できるようにし、継続して計算力の定着を図っていきます。
- 「数量関係」では、割合を百分率で図に表すために「もとにする量と比べられる量」の関係を正しくとらえる問題に課題があります。何を「もとにするのか」を考えさせるとともに、割合や百分率での表し方と、図やグラフへの記入を組み合わせた問題に取り組ませていきます。
- 「図形」では、作図や操作活動を多く取り入れた学習をしてきたことで、図形の見方や考え方が深まってきています。今後も継続して指導していきます。

【算数B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	46.5%					○
量と測定	46.7%					○
図形	36.1%			○		
数量関係	42.4%		○			

【考察】

- 「数量関係」では、示された形について説明する式の意味を書くことに課題がありました。示された形や数は何を表しているのかについて正しい理解を図るとともに、情報を整理して文章で説明する学習をさらに重視して指導していきます。
- 「数量関係」「図形」において、グラフや図形で読み取れる事象から理由を述べる問題に課題が見られました。読み取った情報や条件をもとに、根拠を明らかにしてさまざまな立場から考えを述べる学習を取り入れていきます。
- 示された式や条件をもとに、2つの量の関係のきまりをみつけたり、答えを求めたりすることはできています。今後も基本となる式や考え方のさらなる定着を図り、それを活用した問題に取り組んでいきます。

平成28年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第五小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	白五小	0.0	20.0	76.0	0.0	0.0	4.0
6	全 国	10.8	14.7	37.0	25.4	8.9	3.0

(単位 %)

【考 察】

- 毎日学習する習慣はほとんどの児童が身に付いており、中学校進学に向けても学習習慣が身に付いていることは、とても大切です。今後は、家庭での学習がより充実した内容で、計画的に取り組めるよう指導していきます。
- 家庭での学習を全くやらないという児童もおり、家庭学習の意義や自分から進んで取り組むことの楽しさを味わうことができるよう、家庭学習への意欲付けを図っていきます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
小	白五小	36.0	48.0	8.0	8.0
6	全 国	26.7	35.5	28.8	9.0

(単位 %)

【考 察】

- 自分なりに計画を立てて勉強をすることができています。これは低学年のうちから、勉強の仕方がしっかり身に付いていることの表れです。今後も、児童の実態に合わせ、計画の立て方等を指導していきます。
- ご家庭においては、学習についての約束事(学校から帰ったらすぐに宿題を行う、学習するときはテレビを消す)を決めていただくなど、保護者の皆様との連携を強めていきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	白五小	8.0	16.0	44.0	28.0	4.0	0.0
	全国	6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6

(単位 %)

【考 察】

- 読書をする時間（読書量）がとても豊富だということが分かります。そのため読解力を問われる、「国語B」の問題は、大変良い成績を収めることができました。
- 読書をするのがいかに大切であるかを児童にも理解させ、今後も朝の読書タイムや家庭において読書に親しめるよう、学校図書館司書や学校図書館ボランティアとの連携を図りながら、学校図書館を中心とした読書に親しむ環境づくりを行っていきます。

4 普段（月～金）1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり聞いたりしますか。

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未満	全く見たり聞いたりしていない
小 6	白五小	0.0	8.0	16.0	48.0	28.0	0.0
	全国	16.0	16.8	24.3	26.9	13.9	2.0

(単位 %)

【考 察】

- テレビを見る時間と正答率の関係を見ると、正答率の高い児童はテレビを見る時間が2時間以内であるという傾向です。今後もノーメディアデーを家庭と協力して進めていきたいと考えています。
- ノーメディアカードの提出時に、一人ひとりの取組について確認し、児童の実態に合った声かけをしていきます。そして、家庭にもノーメディアの取組の意義をご理解いただき、家庭とのより一層の連携を図って取り組んでいきます。

5 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	白五小	28.0	44.0	8.0	20.0
	全国	33.3	37.3	20.3	8.9

(単位 %)

【考 察】

- 正答率との関係を見ると、地域や社会の出来事に「関心がある（当てはまる）」と回答した児童が、学力が高いという傾向になりました。地域や社会の出来事を朝の会の中で話し合う時間を設けたり、掲示コーナーを設けたりして、関心を持たせていきます。
- 社会科や総合的な学習の時間、道徳の時間などにおいて、地域の歴史や文化に目を向けさせるとともに、社会情勢にも興味を示すような支援をしていきます。